

議 案 質 疑

(質疑) 代替地確保による工期短縮と工事費圧縮の計算根拠は

(答弁) 旧西友駐車場を代替駐車場とすることで、段階的な駐車場の仮設工事を省略でき、南口広場で約5カ月、北口広場で約1カ月工事期間の短縮効果があると試算している。また、警備員の配置も縮減でき、工事費の圧縮効果につながると考えている。

(質疑) 3年後の売買契約は

(答弁) 将来の譲渡を確実にするため、売買予定契約において予約完結権を定めることとしている。

一般会計予算中 東よか干潟拠点施設整備事業

(質疑) 今年度予算計上の事業内容は

(答弁) 建築工事、展示物の制作及び地中熱利用空調設備の屋外工事。

(質疑) 地中熱利用空調設備での節減効果は

(答弁) ランニングコストで約45%、年間約100万円の削減を見込んでいる。

(質疑) 施設の運用方針と年間維持管理費の見通し

(答弁) 当面は直営と考えており、維持費については現在精査中ではあるが、1,000万円を超えることはないと思込んでいる。

消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例

(質疑) 改正理由及び内容は

(答弁) 平成31年10月1日からの消費税率及び地方消費税率の改定に伴い、使用料等を定めた条例を改正するもので、44件が対象となる。増税分である2%の引き上げを行い、10円未満の端数は切り捨てることとしている。

(質疑) 消費税の引き上げによる影響は

(答弁) 施設の使用料で約980万円、市営バスの運賃で約1,000万円、上下水道料金などで約1億4,000万円の増収を見込んでいる。一方で、施設の維持管理に係る経費も増加することとなる。

(質疑) 消費税等の増税が延期された場合の対応は

(答弁) 廃止議案を提出し、その後時期を見て再提案することとなる。

一般会計予算中 商業者情報化対応支援事業

(質疑) 経費の内訳は

(答弁) 事業者向けセミナーの開催や情報化対応支援員の設置、来訪者向けマップの作成、購買データを用いた分析などの委託料890万円、機器の導入を支援する補助金200万円。

(質疑) キャッシュレス決済の状況は

(答弁) 佐賀商工会議所会員で39%が導入。遅れていると考えており、初期投資を抑えて導入しやすくするため、50件分を予算計上している。

一般会計予算中 中小企業・小規模企業振興条例(仮称)制定に向けた検討会設置に係る経費

(質疑) 検討会設置の予算計上の経緯は

(答弁) 中小企業が直面するさまざまな課題解決に向けた対応、連携支援の具体的な検討に入るため

(質疑) 検討会の構成員は

(答弁) 商工団体や金融機関、経済分野の学識経験者で10名程度を想定。他都市の事例などを参考に今後検討していく。

(質疑) 農林水産や環境、教育分野を取り込んでいく考えは

(答弁) 現時点では、国の中小企業政策の範囲をメインとした方向性で考えていきたい。

一般会計予算中 佐賀駅周辺整備事業
一般会計補正予算中 佐賀駅周辺整備事業

(質疑) 駅前広場の再整備に関する設計は新幹線の整備を念頭に置いているか

(答弁) 新幹線の暫定開業や国民スポーツ大会等の開催などの要素を踏まえ、県都の玄関口としての整備を着実に進めていきたい。

(質疑) 暫定駐車場の収支見込みは

(答弁) 入庫後30分間を無料とし、超過料金の負担は、今後テナント側と協議していくこととなる。

議会からの意見にどう対処するの

～決算議案に対する常任委員会の意見・提言に対して、
市長から対処方針等が報告されました～

平成 29 年度決算議案に係る常任委員会からの意見・提言に対して、2 月 19 日に市長から対処方針等の報告がありました。

これは、昨年 9 月定例会の決算審査において、各常任委員会から次年度の予算反映や事業の執行に対して意見・提言を行い、今後の処理方針について市長に回答を求めているものです。

対処方針等の内容については、市議会ホームページの「市議会からのお知らせ」2 月 19 日掲載をご覧ください。URL <http://sagashi-gikai.gijiroku.com/>

決算議案の不認定を受けた対処は？

～平成 29 年度一般会計決算不認定に係る措置の報告が提出されました～

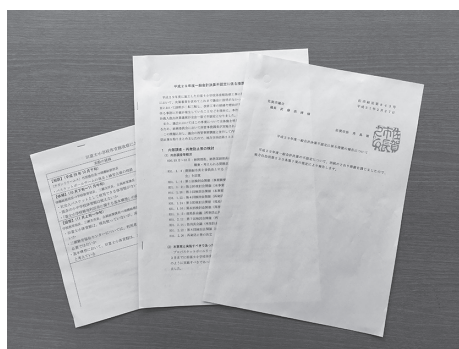
昨年の 9 月定例会において、平成 29 年度に行われた旧富士小学校体育館改修工事について、決算審査を含めて議会に対する説明がなかったこと、再度行った決算審査において説明が二転三転したこと、改修工事の事務に不備があったことなどを理由に、平成 29 年度一般会計歳入歳出決算議案を不認定としました。

これを受けて、執行部が問題点の整理を行い、取りまとめた再発防止策が地方自治法の規定に基づき報告されました。

この報告では、①重要な政策・事業の方針決定方法の明確化②事務処理のチェック体制の強化③業務の適正を確保する体制づくりの 3 点に重点を置いた再発防止策に早急に取り組むこととされています。

なお、報告の内容は、市のホームページで公開されています。（新着情報一覧 2 月 28 日）

URL <https://www.city.saga.lg.jp/>



佐賀市議会 6 月定例会のお知らせ

6 月 7 日（金）午前 10 時開会（予定）

- ◎ 日程等については、定例会開会日に正式決定し、ホームページ等でお知らせします。
- ◎ 市内外を問わずどなたでも傍聴することができます。
- ◎ 車椅子のスペース、補聴用ヘッドホンも準備しています。



補聴用ヘッドホン

旧富士小体育館問題 総務委員会所管事務調査の最終報告



富士小学校跡地 体育館整備について

当委員会では、富士小学校跡地体育館整備について、平成30年11月2日から平成31年2月15日まで、16回にわたる委員会を開催し調査を行い、次の通り調査結果をまとめた。

調査のまとめ

今回の所管事務調査を進めていく中では、執行部による提出後の資料の追加・訂正、不適切な事務処理の発覚による謝罪、報道をきっかけとして説明が一変することなどが繰り返されたことにより、説明の信用性が失われ、事実究明が困難な状況に陥ったことから、個別に職員への事実確認を行わざるを得ない状況となった。

情報共有とチェック機能の欠落

体育館の事前改修に関する一連の業務

は、体育館を社会人バスケットボールチームの練習場として整備したいという、当時の畑瀬総務部長の強い思いのもと、その指示により、しかも約3カ月という極めて短い期間で進められた。このため、関連する部署の職員には、強いプレッシャーがかかり、公文書の不備や契約締結前の業務着手依頼など通常ではあり得ないさまざまな事務処理や事務執行上の不備が生じたと思われる。

また、改修費用についても、部長の指示・判断により別費目の予算流用で対応しており、最終的には約3千百万円という異例ともいえる金額を流用している。加えて、本来あるべき組織的な業務の進め方ではなく、部長からのトップダウンの指示を受けたごく一部の職員によって進められたことから、関係部署並びに全庁的な情報共有が欠落し、責任分担があいまいとなった上、本来機能すべき組織としてのチェック機能は、全くと言っていいほど機能していない。

疑念、晴れぬまま…

この案件は、部長と個人的な交友がある社会人バスケットボールチームの関係者から、私的に相談を受けたことに端を発しており、これが市民の疑惑を招く行

為であったことは、執行部も認めている。また、改修の方針を決定する起案に、最も大きな理由であった社会人バスケットボールチームに使用させることが記載されていないことについて、納得できる説明が得られず、疑念が残ったままである。

議会への説明が一切なかったことについては、「失念」以外にないとの説明に終始し、また、補正予算及び決算の審査時においても、なおも説明がなかったことについては、主だった他の事業を中心に説明したためであり、決して隠す意図はなかったとのことだが、議会として到底納得できるものでなく、疑念は払拭できない。

市民の信頼回復へ

早急な対策を！

以上が、この案件に関する本委員会の調査結果であり、議会として執行部に対し、市民の大きな不信感を招いたこと、議会との信頼関係を大きく損ねたこと、また、市の業務遂行に大きな影響を与えたことなどを重く受け止め、二度とこのような事態が起きないよう早急に対策を講じ、これを広く示し、市民や議会の信頼回復に努められることを強く求めるべきである。

特別委員会

バイオマス産業 都市調査特別委員会

2月8日開催

さが藻類産業研究開発センター、
株式会社アルビータ、清掃工場
二酸化炭素分離回収設備の視察

施設や設備を視察し、研究の進捗状況
や今後の事業計画等の説明を受けた。

清掃工場二酸化炭素の供給状況
について

〔質問〕現在、二酸化炭素の販売収入は
分離改修設備の運営経費を下回っている
が、運営経費を抑えるために、必要時以
外は運転を止めるなどの運用はできない
のか。

〔答弁〕効率的な運転を行い、必要量を
回収することについては、今後、検討す
べき課題であると認識している。また、
供給先を早く誘致し、回収した二酸化炭
素の全量を供給できるように取り組んで
いきたい。

清掃工場周辺への企業の誘致
状況について

〔質問〕進出予定の植物工場は、どのよ
うな施設なのか。

〔答弁〕500平米のよく見られるビニ
ルハウスで、IT、IoTを使うことに
より、外部から管理できるハウスを建て
るということである。管理会社ハウス環
境を遠隔制御するため、農業の経験がな
い方でも、新たに参入しやすいシステム
を考えられている。

清掃工場二酸化炭素分離改修
設備について

〔質問〕昨年10月11日の不具合発生後、
関係機関とさまざまな協議や検討を進め
られているが、結論はいつぐらいに出る
のか。

〔答弁〕まず年度内に、さびをとるスト
レーナーの工事を完了させ、予備のポン
プを用意し、保全計画の見直しを行いた
い。また、不具合に対する費用負担につ
いては、来年度の初めごろまでには結論
を出したい。

視察報告

議会運営等改革検討会

（松永幹、中山、御厨、野中康、山田、野中宣、
白倉、江頭、千綿、川崎、福井、山下明）

7月24日（水）

埼玉県志木市

◎議会BCPについて

市内で大規模災害が発生する恐れがあ
るとき、志木市災害対策本部と連携を図
り市民の安全確保と災害復旧に向け、災
害対策活動を行うための体制整備を行う
とともに、議会として迅速かつ適切な活
動ができるよう、議会運営委員会におい
て協議し、志木市議会BCP（業務継続
計画）を策定している。

志木市議会のBCPは、市域が小規模
（9・05平方キロメートル）で平坦な地
域性により、災害が発生し議会が支援本
部を設置した後は、全議員参集で行動す
るところが特色であ
る。

※7月25日（水）に
東京都練馬区の「練
馬子ども議会につい
て」を視察した。



志木市視察の様子

議会広報広聴委員会

（山下明、富永、久米勝也、御厨、西岡真、中村、永渕、
白倉、中山、西岡義）

1月24日（木）

埼玉県鴻巣市（株）会議録センター

◎研修「もつと目がいく・読まれる」
議会だよりへ

議会広報誌の先進事例から良い点や工
夫等の分析や、写真・イラスト等の重要
性や、キャプションの役割、読み手の目
線の流れ等基本的な技術や、伝えるため
のコツや、編集の基礎知識を受講した。

その後、本市の「さが市議会だより」
のクリニックを受講し、良い点・改善が
必要な点について解説を受け、実際の「さ
が市議会だより」のページと講師が作成
したページを見比べながら、具体的なヒ
ントやテクニックの
説明を受講した。
※1月23日（水）に
千葉県柏市議会の
「議会広報誌につ
いて」を視察した。



（株）会議録センターでの研修の様子